

# らくだ、針の穴を通る

シリーズ～福音の力～

2020/11/01

# ルカによる福音書19章1～10節

イエスはエリコに入り、町を通っておられた。そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見ることができなかつた。それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登つた。そこを通り過ぎようとしておられたからである。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」

ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」イエスは言わされた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」

# 木に登った徵税人ザアカイ

- 「徵税人」とは

- ローマに納める税金を集めるために雇われた
- 必要以上に取り立てて、私腹を肥やしていた

- イエス様が自分の町にやってきた

- 町の門で盲人の物乞いを癒やした！
- イスラエル中の話題を独占するスーパースター！
- 徵税人さえ弟子にする（マタイ）

- 木に登ったザアカイ

- 一目イエス様を見たかった
- 背が低かったので人々に邪魔され見えなかった
- 前方に走り、木によじ登った！



エリコにあるザアカイが登った  
とされるいちじく桑の木

# ザアカイに声をかけられたイエス様

- 突然イエス様が彼に呼びかけられた
  - 「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」
- ザアカイの家に泊まることになっていた?
  - 「ぜひ…泊まりたい」：原語では「泊まらなければならない」／英語訳は“must stay”
- 人々のつぶやき
  - 「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」
  - なぜ町一番の嫌われ者の所に泊まるのか？！

# ザアカイの改心

- 転がるように木を降りて、大急ぎで最高のもてなしをした
  - 「ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。」
- 突然の改心告白
  - 「ザアカイは立ち上がって、主に言った。『主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。』』
  - イエス様が改心するよう説得された、とは書いてない

## この話の前の出来事

ある議員がイエスに、「善い先生、何をすれば永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と尋ねた。イエスは言われた。「…『姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証するな、父母を敬え』という掟をあなたは知っているはずだ。」すると議員は、「そういうことはみな、子供の時から守ってきました」と言った。これを聞いて、イエスは言われた。「あなたに欠けているものがある。持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

しかし、その人はこれを聞いて非常に悲しんだ。大変な金持ちだったからである。イエスは、議員が非常に悲しむのを見て、言われた。「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。**金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。**」これを聞いた人々が、「それでは、だれが救われるのだろうか」と言うと、イエスは、「**人間にはできないことも、神にはできる**」と言われた。

ルカによる福音書18章18～30節

# らくだが針の穴を通った！

- ・**金持ちが改心することは不可能**
  - 「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい」
  - それでは誰に一人神の国には入れないではないか
- ・**しかし神にはできる**
  - 「イエスは、『人間にはできないことも、神にはできる』と言われた。」
- ・**改心した大金持ち(しかも徴税人！)ザアカイ**
  - らくだが針の穴を通った！
  - イエス様が神であることが証明された

# 解放されたザアカイ

「わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」

- 施し

- 施しは「義人」のしるし
- ラビ(教師)でも収入の1／5

- 償い

- 徴税人で大金持ちであったのだからだまし取っていたのは当たり前
- 4倍にして返したらザアカイは一文無しになるだろう

# 解放されたザアカイ

「わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」

- ・施し
    - 施しは「義人」のしるし
    - ラビ(教師)でも収入の1/5
  - ・償い
    - 徹税人で大金持からだまし取っていたのは当たり前
    - 4倍にして返したらザアカイは一文無しになるだろう
- ザアカイは  
金の呪縛から  
解放された!**

# なぜらくだが針の穴を通れたのか？

- ・ザアカイがガイエス様を見ようと木に登った
  - その必死の思いがガイエス様に通じた？
- ・イエス様がザアカイの家に泊まりに行かれた
  - イエス様が、自分で選んで、自分の所に来て下さったことにより、ザアカイの心が溶かされた
  - 「今日、救いがこの家を訪れた。」
- ・イエス様に従ったザアカイ
  - 彼の名前が記されているのは、彼がガイエス様の弟子となつた証拠
  - 彼は本当の「ザアカイ」(義人)となつた！

# 「失われたもの」

「イエスは言われた。『今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。』」

- ・イエス・キリストの目には「**失われたもの**」と映っている(ルカ15章)
  - 持ち主にとって大切な宝物
  - しかし持ち主の手から離れ困っている
  - 救いを必要としている